令和8年度　　8月

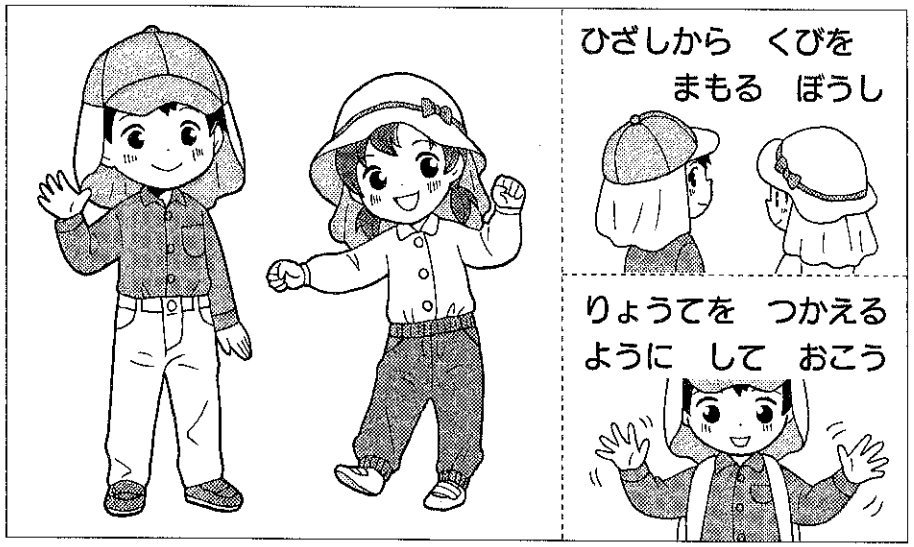
あんぜんだより

社会福祉法人
明の守福祉会

けがや事故に遭わないように注意して夏の野外活動を安全に楽しもう

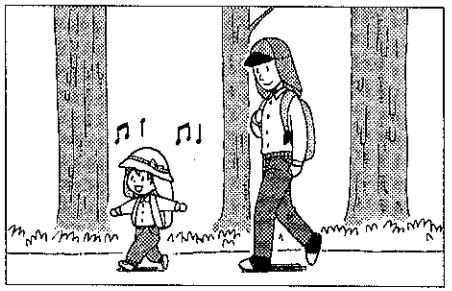
夏休みには、ハイキングや虫捕り、キャンプ、バーベキューなど、野外でのレジャーを楽しむ機会が増えることでしょう。楽しい夏の思い出を、けがや事故によって台無しにしてしまわないように、野外での活動はしっかりと安全に注意して行いましょう。

やがいかつどうでの　ふくそう

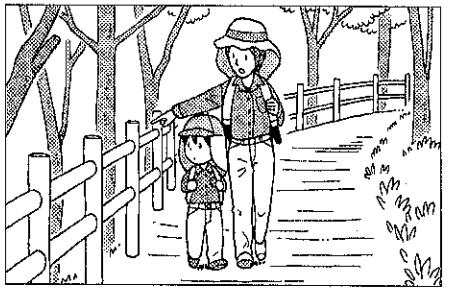


むしに　さされたり　けがを　したり　しないように　ながそでの
シャツ(しゃつ)を　きて　ながズボン(ずぼん)を　はこう。
くつは　あしの　おおきさに　あった　うんどうぐつに　しよう。
ひざしを　ふせぐ　ために　しっかり　ぼうしを　かぶろうね。

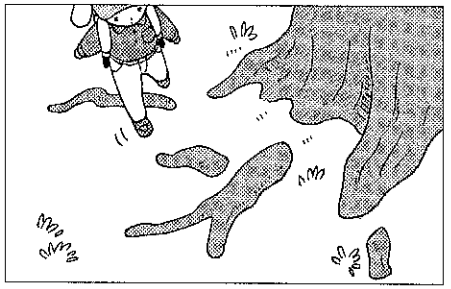
やがいかつどうでの　ちゅうい



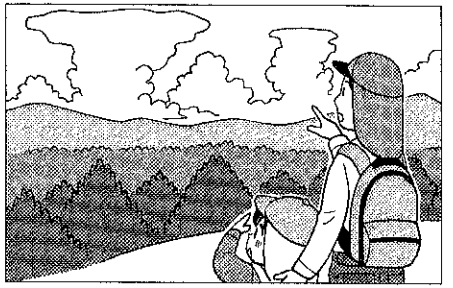
おうちの　おとなの　ひとの
ちかくから　はなれない。



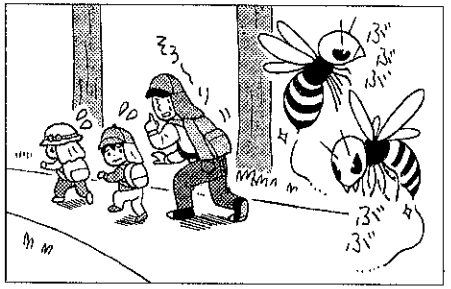
あるくのは　みちの　なか。
さくから　そとに　でない。



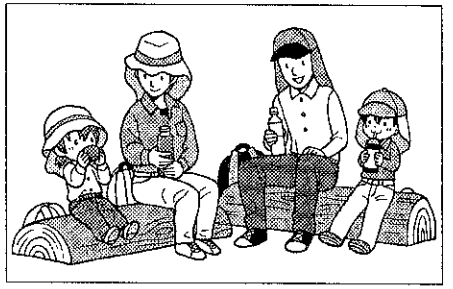
あしもとに　よく　きを
つけて　あるく。



てんきが　わるく　なりそうな
ときは　すぐに　かえる。



スズメバチ(すずめばち)を　みたら　しずかに
その　ばから　はなれる。



こまめに　きゅうけいを　して
すいぶんを　ほきゅう　する。

保護者の方へ　野外活動を楽しむ時の服装は、熱中症、日焼け、けが、虫刺されを防ぐために、風通しの良い長袖シャツと長ズボン、帽子を身につけ、できるだけ肌の露出を抑えましょう。遊歩道から外れたり、林の奥の方へ入ったりしてしまうと、遭難や事故の危険が大きくなります。特に、スズメバチを見た時には、刺激しないように、静かにその場を離れるようにしましょう。また、事前に現地の天気予報を確認しておくことと、野外活動中でも天候が悪化しそうな時には、すぐに中止して、避難や帰宅をするようにしてください。

９月号では「**大雨の時の注意**」について取り上げます。